

【ICT を最大限に活用した介護サービスを目指して】

知多郡阿久比町

株式会社フレーバー 「小規模デイサービス ほたる阿久比」

代表取締役 布目裕貴

近年、介護現場での「ICT 活用」が大きな課題となっており、今後安定的な介護サービスを提供していく上で避けて通る事の出来ないことだと考えています。

そこで、当事業所では施設の移転をきっかけとして、ICT を最大限に活用し「利用者さんにとって過ごしやすい」「スタッフにとって働きやすい」そんな介護サービスを目指しました。

■ICT 化を目指してまず行った事

①どんな事が ICT 化出来るのか？どんなモノがあるのか？

→積極的な情報収集を行う

東京で行われる展示会や説明会にも積極的に参加し「私達の施設」に取り入れる事の出来るモノは何か？現場の介護スタッフも同行して貰い、現場スタッフとして望むものは何か？

●現場スタッフがメリットを感じるモノを導入しました



②実際に使う現場スタッフを中心に選定を行う

→自分達が選んだモノでよりよい介護を

- ・選定した機器の「デモ機」を借りる
- ・現場スタッフ対象に機器の説明会などを行ってもらう

ICT 機器を導入する事で、何か変わるのか？どんな介護が出来るのか？

利用者さんやスタッフそれぞれにとってのメリットは何か？

●現場スタッフが実際に使ったり、使った姿を想像出来る環境を作りました



■何を ICT 化したか

- ・ナースコールを映像で確認
- ・呼吸の微体動を確認する事で夜間の安否確認システムの導入
- ・体温、血圧など、記録の電子送信 ・映像記録で事故原因の確認システムの導入
- ・レクリエーションやリハビリを楽しく簡単に行えるシステムの導入

①ナースコールシステム （状況を「見てかけつける」システムの導入）

起床・離床・微体動異常（呼吸停止）といったコール発生時に、スマートフォンの画面で利用者の映像を確認することで、駆けつけの必要性を確認できる。駆けつける前に状況把握ができるので、何人かのコールが重なった時でも緊急度の高いほうから駆けつけるなど、駆けつける前に介護スタッフが判断することができる。さらに、他のスタッフが対応中、対応済みなどの情報も表示されるので、重複対応を防ぐことができる。

従来、介護施設のワークフローは「コールが鳴る、駆けつける」であったが、このシステムにより「入居者の行動を確認する、駆けつける」へワークフローが変革でき、業務を効率的に行うことができる。

●夜間提供している「お泊りデイ」や昼間の静養室での様子などの確認に活用

- ★何か、事象が発生した時にスマートフォンに情報が通知。
- ★映像で「優先順位付け」が可能
- ★「起床」などのタイミングで伺うことも可能

★転倒転落時にスマートフォンへの映像通知するとともに、サーバーにて転倒転落前後の映像を記録する。尚、映像は昼夜問わず検知記録するため近赤外線センサで撮影される。事故原因の究明や今後の事故防止に役立つ事が出来る。

※プライバシーに配慮して、転倒時前後以外の映像は保存されない。



②介護記録 （即時・確実な「情報共有」システムの導入）

介護施設における介護スタッフの業務の中で、ケアに係る「記録作成・閲覧」と「情報共有」が3分の1を占める。これらを改善するために、スマートフォンのアプリケーションと連携させ、ケア記録の入力や情報共有といった機能を付加していく。そのことで、ケア実務だけでなく記録作成などのデスクワークを含む介護業務全体の効率化を実現する。

加えて、これらの記録や情報をスタッフ間でリアルタイムに共有化することで、これまで課題であった伝達の遅れや連絡ミスが防止できる。また、ケア記録やバイタルデータを、

スマートフォンを利用してその場で簡単で確実に入力できるため、転記のムダや転記ミス
を解消します。

★完全なペーパーレスを目標に行っています。起動に乗るまで数ヶ月を要しましたが
現在は概ね順調に稼働しています



③掃除 お掃除ロボットの導入 (掃除の自動化でケアにかける時間を増やす)

限られた職員数で運営を余儀なくされる介護サービス。忙しく働くスタッフの多くは「もっと利用者さんと関わりたい」と考えています。そこで人がやる必要が無い部分をロボットに行ってもらい、ケアにかけることの出来る時間を大幅に増やすことが出来ました。

★ロボットに利用者さんがつまずくのでは？という問題がありましたが、稼働時間を調整する事で安全な掃除を可能としました。デイサービスには特にオススメです。

④レクリエーション&リハビリ

コンピュータで楽しくレクリエーションやリハビリを行う事が出来る機器の導入

テーブルゲーム型のリハビリ専用機器を導入。脳トレ、回想法、反射速度を鍛えるリハビリ等様々な事を簡単に行う事が出来ます。

ICT を積極的に導入することで介護の質をより向上させる事が出来ると考えています

